



ローゼンメイデン

ソードワールド リプレイ



なりきりリプレイシリーズ①
～ローゼンメイデン～

はじめに

この度は、当書を手に取っていただきましてありがとうございます。

この本はゲームの一種類であるTRPGというゲームをプレイした様子を本としてまとめたリプレイと呼ばれるものです。

と言っても、おそらくこの本を手に取っている人は、それぐらい分かっていると思いますので、詳しい説明は不用でしょう。

今回は、ソードワールドというおそらく国内では最もプレイ人口の多いルールを使って、ローゼンメイデンの世界を再現してみました。

『ローゼンメイデン』とは、PACMAN P.T. 原作による漫画であり、ローゼンメイデンと呼ばれる人形達の、その作者であるローゼンという男が理想とした「完璧なる乙女」になるためのアリスゲームと呼ばれる戦いを宿命づけられた中で巻き起こる物語です。

といっても、いわゆる戦闘モノではなく、薔薇乙女達やそのマスターである人間達の間で繰り広げられる日常を、コメディタッチに描いている物語です。

とても面白く人気も高い作品ですので、もしご存じない方はこの機会に是非どうぞ。

というわけで、いつもとちよつと変わったSWを舞台とした世界での、水銀燈も含めた真紅達の一風変わった冒険を楽しんで下さい。

ヤツは恐るべき速さを誇っていた。

これまで何度も戦ってきただけに、それは身に染みて実感していた。

でも今日は負けるわけにはいかない、今日こそ勝たなければいけない。

今までの戦いにおいてすべて敗北を喫してきた事実を前に、いっそう気合いを入れ、集中力を高める。

ヤツの攻撃手段は分かっている。

いつも天高く舞い上がり、十分な高度を得た後、急滑降で目標一直線に襲ってくるのだ。

しかし、分かっているにもかかわらずそれに対抗することは難しい。

自分は翼を持っていないので、制空権は完全に握られているからだ。

よって、ヤツが目標を捉える一瞬に反撃を試みしか手がない。

今まで完全に敗北してきた原因は、そのスピードに圧倒され、全てにおいて後手後手に回ってしまった、その一点に尽きる。

あのスピードに対し、受け身に回ってはどうかやって

も勝てない。

数え切れない程の死闘を繰り広げてきた中で得られた結論である。

今日こそはという思いは、ひとつの策によって確信めいたモノになっている。

ヤツは急スピードで空から一直線にやってくる。

となれば、急に方向を変えるのは難しいハズ。

そこで、今日はそこを狙い、大きな網を持って迎撃しようというのだ。

これだけを聞くとたいしたことない作戦のように思えるが、初めて攻勢に出るのだから、受け身一辺倒だったこれまでとはかなりの前進と言えよう。

いつもと言えどもだが、勝利を確信した顔で、ヤツに対峙した。

勝負は一瞬で決まる。

ヤツには本当は来てほしくないが、来たからには迎撃しなければならぬ。

そして今日は、必勝の策がある。

負けるハズがない。

その刹那、大きな取り網が振るわれたっ。

捉えた！！

確信があった。

予想通りヤツは方向を変える事が出来なかった。

そのまま網の中にヤツは吸い込まれていく。

ついに勝った！！

しかし、その喜びは一瞬で消え去ることになる。

ヤツは、そのスピードを落とそうとしなかった。

むしろスピードを上げ、自ら網の中に飛び込んでいったのである。

ピリッ！！

戦いの最中には、予期せぬ事が起こるものである。

そしてこのトラブルは、結果に致命的な事態をもたらしてしまった。

網が破れた、いや破られたのである。

ヤツは網を破り抜け、地面スレスレでもう一度急上

昇し、体勢を立て直した後、すぐさま獲物目掛けて急滑降してきた。

もはやその二撃目に対抗する術は無い。

カアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア！！

嘲笑うかのようにカラスは金糸雀の卵焼きを盗み取って行ってしまった。

これで通算二十連敗である。

破れた網を手に呆然とカラスを見つめるしかない金糸雀は、目に涙を浮かべ、せめて残ったお弁当を食べようとともとした場所に戻ろうとした。

しかし金糸雀は今日もうひとつミスを犯してしまったことに気づいた。

むしろこちらの方が致命的である。

呆然は絶望へと変わってしまった。

どっ、どっ、どうしてなのかしらああああああああああああああああああああ

ローゼンメイデン

ソードワールド リプレイ

盗まれたバイオリン



名前 真紅

種族 ローゼンメイデン

(データ上人間)

冒険者レベル 4

技能 ソーサラー3

セージ4

ファイター1

ノーブル3

器用度

敏捷度

知力

筋力

生命力

精神力

19

17

21

13

19

7

ローゼンメイデン第五ドール。ジュンを契約者(マスター)とし、薔薇乙女の運命であるアリスゲームの中心に身を置く主人公的存在。

本リプレイでは、ソーサラーとしてその腕を振るう。図らずも、持ち物にくんくん探偵変装セットを用意しており、本編で多いに役立つことになる(?)

ところで、一般技能ノーブル3というのはなんなんだろう(笑)



名前 水銀燈

種族 ローゼンメイデン

(データ上人間)

冒険者レベル 4

技能 ファイター3

セージ2

プリースト4

(フアリス)

器用度

敏捷度

知力

筋力

生命力

精神力

10

15

14

17

19

ローゼンメイデン第一ドール。めぐをマスターとし、アリスゲームに勝利しアリスになるべく燃やす執念は、薔薇乙女随一。

本リプレイでは、ファイターが本業かと思いきや、なんとプリーストが一番レベルが高い。しかもフアリス。おそらく彼女なりの正義があるのだろう。

そしてなぜか真紅達と今回は冒険を共にするハメになってしまっている。



名前 翠星石

種族 ローゼンメイデン

(データ上人間)

冒険者レベル 3

技能 シャーマン3

レンジャー2

プリースト1

(マーファ)

| | | | | | | | |
|------------|----|------------|----|-----------|----|-----------|----|
| 器用度 | 10 | 敏捷度 | 17 | 知力 | 19 | 筋力 | 15 |
| 生命力 | 14 | 精神力 | 18 | | | | |

ローゼンメイデン第三ドール。蒼星石と双子であり姉。真紅と同じマスターはジュン。アリスゲームに対する真紅と蒼星石の立場の違いから、苦しい思いに苛まれることも多い。

本リプレイでは、シャーマンを本業とする。もちろん土や植物の精霊と一番仲良し。得意技は《ストーン・ブラスト》

同時にマーファの神官であり、土と共に自然であれとの思いを強く持つ。が、神官とは思えない口の悪さである(笑)



名前 蒼星石

種族 ローゼンメイデン

(データ上人間)

冒険者レベル 5

技能 ファイター5

セージ1

プリースト1

(マーファ)

| | | | | | | | |
|------------|----|------------|----|-----------|----|-----------|----|
| 器用度 | 14 | 敏捷度 | 12 | 知力 | 12 | 筋力 | 19 |
| 生命力 | 18 | 精神力 | 15 | | | | |

ローゼンメイデン第四ドール。蒼星石と双子であり妹。マスターは原作とアニメで違う。薔薇乙女の作者ローゼンへの想いと、翠星石や真紅達の願いとの間で板挟みすることも多い。また案外シビリアな性格でもある。

本リプレイでは、ファイター5レベルの主戦力である。また翠星石と共にマーファの神官でもある。

暴走しがちな一行の唯一の良心であるが、ひとりですれを制御するのは難しい。ガンバレ蒼星石(笑)



名前 雛苺

種族 ローゼンメイデン

(データ上ガラスランナー)

冒険者レベル 5

技能 シーフ5

レンジャー3

器用度

21

敏捷度

25

知力

16

筋力

3

生命力

17

精神力

29

ローゼンメイデン第六ドール。マスターは巴であったが、後に真紅を介してのジュンとなった。薔薇乙女達の中では未っ子的存在。本リプレイでは、ガラスランナーとなり、驚異の能力値でGMを悩ませる。が、それを補うほどのダイス目の悪さを発揮する(笑) グランというところでほとんど職業はシーフ一択なのだが、性格的にシーフが合っているとは思えない。ただ、最近はドジッ子シーフが流行のようだから、まあいいのかな。



名前 金糸雀

種族 ローゼンメイデン

(データ上人間)

冒険者レベル 5

技能 バード5

レンジャー3

ファイター1

器用度

18

敏捷度

16

知力

17

筋力

14

生命力

16

精神力

12

ローゼンメイデン第二ドール。マスターはドールマニアのみっちゃん。「ローゼンメイデン一の頭脳派」と自称するが、自称に終わっている場合が多い。本編でも影が薄い、他のドール達からも「たれですか?」とからかわれるくらい影が薄い、ちよつと不遇な子。本リプレイではNPCとして登場。技能は当然バードだが、これではゲーム的にはあまり役に立たない。やっぱり影が薄い(笑)

■盗まれたバイオリン

GM ある晴れた日、ここは真紅と翠星石のミーディウムである。ジュンと、その姉ノリが共同経営する冒険者の店。

ローゼンメイデンのドールズである真紅と蒼星石、雛苺、翠星石、そしてなぜかいる水銀燈の5人は、ノリ特製のランチを食べている。

真紅 ジュン。10分以内に紅茶を持ってきなさい。95℃以上で抽出してミルクもつけて。

翠星石 チビいちご、チビいちごがこのサンドイッチを食べると爆発するですよ。

雛苺 そんな嘘ついたってヒナは分かるもん！

翠星石 爆発してからじゃ遅いのです。翠星石は雛苺が心配なのです。それが嫌ならその花丸サンドイッチは翠星石に寄こすですよ。

雛苺 うう〜（泣きそうな目でじっと見て差し出す）

翠星石 いい心がけですよ。

蒼星石 ランチの時くらい静かにしようよ。ねえ、みんな。

真紅 雛苺、私の分をあげるから静かに食べなさい。

雛苺 （ばあーと表情を明るくして）真紅、くれるの？

真紅 私は紅茶があればそれでいいわ。雛苺、あなたが食べなさい。翠星石もあまり雛苺をからかうものじゃないのだから。

翠星石 か、からかってなどいいですよ。

水銀燈 だいたい、なんで私が真紅たちとランチを食べなければいけないのお？

翠星石 そおれはこっちのセリフですよ水銀燈！

真紅 それがアリスになるのに必要だからよ、水銀燈。同じ薔薇乙女なのだから、たまには一緒に過ごさなさい。

ジュン（GM） お前達ちよつとは静かに食べられないのかよ。

蒼星石 ジュン君、ごめんね。

GM と、和気藹々と食事をして、そろそろみんな食べ終わったかなと思うぐらい、突然お店のドアが勢いよく開く。ばーんっ！

「困ったなのかしら」

翠星石 誰ですか？ 見たことのないドルですう。

蒼星石 金糸雀だよ翠星石。そういう冗談はやめようよ。

真紅 金糸雀、今は食事中よ少し落ち着きなさい。

GM 金糸雀はおずおずとみんなの前に来る。

金糸雀 (GM) あの、あのね、ちよつと困ったことになつちやつたのかしら。

真紅 どうしたの？

金糸雀 実はバイオリンが無くなったというか、盗まれちゃつたみたいなのかしら……。お願い、カナのバイオリン一緒に探してー。

翠星石 ぶぶーっ。

GM 金糸雀は泣きそうな顔だよ。

真紅 バイオリンが？……それで金糸雀、貴女心当たりはあるの？

金糸雀 あのねあのね、カナ、向こうの公園でみっちゃんがつ作ってくれたお弁当を食べていたのね。そしたらあいつ、憎きカラスがやつてきたの。みっちゃんの卵焼きはわたさないとかナがなばつてただけど、結局取られちゃつて、すごすごと座つていたところにもどつていつたら、今度は

バイオリンが無くなつていたのかしら……。

GM 泣く寸前顔。

水銀燈 おばかさんねえ。そんな大事なバイオリンをほつたらかして……。

翠星石 とりあえずじーつと水銀燈を見ますけどお。

水銀燈 なんでこつちを見てるのかしらあ？

真紅 こは……くんくん探偵真紅の出番のようね！

翠星石 ちよつと待つたです、真紅！

真紅 なにかしら？（帽子を被りながら）

翠星石 カラスといつたら、犯人はひとりしかいないですう！ふつふつふ、今回は真紅の手を煩わすまでもなかつたですね。さあ水銀燈、おとなしく観念してバイオリンを出すですよ。

水銀燈 な、何を言うの！？ なんで私が……。

蒼星石 ちよつと、落ち着いてよ翠星石。なんで水銀燈が犯人なのさ。

翠星石 証拠はこれですう！

水銀燈 だいたい、私はさつきからここで一緒にランチを食べていたじゃなあい。

翠星石 金糸雀の髪にくつついてるカラスの……え？

真紅 そう、水銀燈はさつきから私達と一緒にいたのだから。

翠星石 ……そう言われてみれば、そんな気もするですね。

水銀燈 ……。

金糸雀 あ、あの、探すの手伝ってくれないかしら。

雛莓 ヒナは探すの手伝うの！

真紅 とりあえず金糸雀。手伝ってあげるから事件現場に連れて行って頂戴。

翠星石 そ、そーだったですう！ さささ、蒼星石も水銀燈もチビ苺も、さつきと現場に向かうですう！

蒼星石 わかったから、袖をひっぱらないでよ翠星石。僕も一緒に探すから。

水銀燈 ……まあ、あなたのバイオリンに興味はないけどお、翠星石に疑われたままだ面白くないから、真犯人を

探すのだけは手伝ってあげるわあ。

金糸雀 あ、ありがとうなのかしら（笑顔）

ノリ（GM） あらあら、じゃあみんな気をつけていってらっしゃい。

真紅 翠星石、その程度じゃまだまくんくん探偵にはな

れないわ。

翠星石 ぬう〜真紅う〜……絶対現場で水銀燈が犯人だという動かぬ証拠を押さえてやるですう！

真紅 それじゃ行きましょうか。ジュン、帰ってくるまでに紅茶の入れ方を勉強しておいて頂戴。

ジュン ……ぼくは忙しいんだ。

真紅 下僕は黙って言う事を聞くものよ。

翠星石 チビ人間、翠星石のジュン（ラバ）を表に出しやがれですう。

ジュン あーもー用意してやるからさつきと行けー！

真紅 ふふ、いい子ねジュン。それじゃ行って来るわ。

思わぬ疑いを掛けられて結局ついていくハメになった水銀燈を含めた6人は、まずバイオリンが無くなったという公園に、現場検証に向かいました。

■捕らわれた!? 薔薇乙女

金糸雀 あそこ、あそこでカナはお弁当を食べていたのかしら。

GM そこは公園のちよつと外れ、大きな木の木陰。それ以外には特に目に付くものはなく、見晴らしも悪くない。公園自体は結構広い。

真紅 ふむ、まずは聞き込み調査からだわ。周りに誰かいないかしら。

GM 公園だから、人はそれなりにいるよ。

翠星石 翠星石は、聞き込みはやめておくですう。

真紅 そうね、怒らせるだけだわ。

翠星石 なっ……！ 真紅、なんて失礼なことを言うのですか！? 翠星石に聞き込みができないとでも！?

真紅 翠星石。貴女のその喧嘩つばやさが問題なのよ。

翠星石 怒りつばさでは真紅には敵わないですう！

真紅 なんですつてー！

蒼星石 お願だから落ち着いてよ翠星石。今は金糸雀のバイオリンを探すのだから、ね。

雛苺 ケンカはやーめーるーのー！

真紅 ふーふー。私とした事が、つい翠星石につられてしまったわ。

翠星石 し、真紅の相手をしてると疲れるですう……。

真紅 探偵はいつもクールに。そうよねくんくん。

水銀燈 あいかわらずおばかさんねえ、真紅。すぐムキになるんだからあ。

真紅 くっ……水銀燈、言い返せないわね。

水銀燈 そんなことじゃあ、くんくん探偵は名乗れないわよお。

真紅 見てなさい。これからがくんくん探偵真紅の真骨頂なのだわ！

翠星石 まったく付き合つてられねーですう。翠星石は金糸雀が食事をしていたところを調べてくるですよ。(ふー、聞き込みはしないで済みそうですう……)

翠星石は人見知りするからね(笑)

GM では、現場まで行くかい？

真紅 現場周辺の人に聞き込みするから現場には立ち寄るのだけわ。

翠星石 あ、真紅が先でいいですよ。主役は後から登場するものですよ。

蒼星石 じゃあ、僕は翠星石と一緒に調べてくるよ。そっちはお願いするね、真紅。

真紅 任せるのだけわ蒼星石。

雛莓 ヒナは真紅と一緒に話聞いてくるの。

翠星石 真犯人の水銀燈はどうするです？

真紅 水銀燈は私と一緒にいらっしやい(翠星石と一緒にさせられないのだけわ)

水銀燈 真紅と一緒になのお？

GM あ、ちなみに、もちろんただけど金糸雀もいるからね。

翠星石 金糸雀はこちにくるですう。

金糸雀 ローゼンメイデン一の頭脳派のカナもはりきって捜査するかしら。

翠星石 捜査しなくていいから、協力するですう。

金糸雀 がーん。

真紅 金糸雀、貴女がこの事件の中心に居たのだからしつ

かりするのよ。

GM と、相談しながら事件現場に到着した一行は、いきなりだけど、危険感知してちよーだい。

真紅 危険感知は何でロールだったかしら？

翠星石 レンジャー+知力ボースですう。

水銀燈 レンジャーなんて持ってないわあ。

真紅 平目ね……仕方ないわ。

ここでいきなり雛莓が6ゾロ！

雛莓 ヒナ、何か感じたの。

GM 12以下の人、足元から突然あらわれた網に捕まっています。

真紅 キャアアア~~~~あーれー。

水銀燈 ちよつとお、なあにこれえ。

翠星石 ななな、何事ですう!!?

GM ヒナは勿論、13以上の人はよけた。

蒼星石 なんてこんなものが!!?

GM 真紅と蒼星石と水銀燈は、仲良く網の中(笑)

真紅 ちよつと水銀燈、あまり押さないで頂戴。

水銀燈 つ、翼が……。

蒼星石 お、重いよみんな……。

真紅 わ、私は重くないのだから。

GM 捕まらなかつた二人どうするね?(笑)

水銀燈 蒼星石のハサミで切れないのお?

蒼星石 この状態じゃ銚を出せないよ……。

翠星石 今ひとつ状況が掴めないですけど……とりあえず

蒼星石は助けるですよ、チビいちご。

GM あ、忘れてた、カナもつかまつたね(笑)

翠星石 まあ、それはどーでもいいです。

金糸雀 がーん。

不憫な……(笑)

翠星石 うーん、周囲に怪しい人影とかはないですか?

GM あからさまに怪しいっていうのはないね。

真紅 金糸雀、貴女こんな仕掛けがあるなんて言つてなか

つたじゃない。

金糸雀 カナだつて知らないのよ。

翠星石 とりあえず、木から網を降ろしてやるです。チ

ビいちご、手伝えです。

GM まあ普通に武器かなんかで切れば、網はほどけるよ。

ドサつと(笑)

真紅 ああもう。髪の毛が痛んでしまったわ。

翠星石 チビいちご、畏の残骸を調べるですよ。というか、

自然を利用した畏なら翠星石にも調べられるです。

雛莓 調べるのー。

GM 調べるなら、レンジャー十知力で。まず、どこ調べ

る?

翠星石 お問抜けにも真紅が踏んづけたところを調べる

です。

真紅 な!? 踏んづけたのは私じゃないわ!

水銀燈 真紅のおばかさんが踏んだのを見たわあ。

翠星石 (ニヤー) あらあ? 人のせいにしちゃダメです

よ、真紅う?…ところ…13。

GM 畏は、地中に、それなりの深さまで掘られていたこ

とがわかる。ただ網を完全に埋めるぐらいのもので、落とし穴っぽい罠ではないと。

翠星石 でも金糸雀、ここでお昼ご飯を食べていたんですよね。

金糸雀 そうなの。カナはよくここでランチを食べるのかしら。

蒼星石 ということは、金糸雀が帰った後に埋められたのかな。バイオリンを探しに来た金糸雀を捕まえるために。

真紅 これは、誰かの悪意を感じるのかわ。

水銀燈 最初からバイオリンじゃなくて、おばかさんの金糸雀を捕まえるつもりだったんじゃない？ 金糸雀がカラスを追いかけていつてしまったからあ、仕方なくバイオリンだけ持ち去ったとか……。

翠星石 となると、カラスは使い魔ってことになるですね。

蒼星石 罠は以前から設置されていたことになるね。

水銀燈 こんな罠を、わずかなあいだに設置できるとは思えないわあ。

真紅 とにかくまだ情報が足りないわね。聞き込みをするわよ。

翠星石 聞き込みは任せるから、がんばるですよ。

罠にも負けず、さっそく聞き込みをしようと移動する一行。もちろん最後尾は人見知りする翠星石（笑）

■聞き込み調査

真紅 この付近にずっと居たような人はいるかしらね。

GM 公園だから、老若男女いるよ。

真紅 その貴方。先ほどの公園でバイオリンを抱えた人を見なかったかしら？ と、ベンチに座ってる老人に聞くのかわ。

老人（GM） んー、バイオリン？ そんな人は見なかったと思うがなあ。

翠星石 びくつ。

真紅 では先ほど、ここでこの子（金糸雀）がお昼をしたいたのはご存知かしら？

老人 いや、ワシはさつき散歩にきたばかりじゃからな。